

ご利益

一言の願いならなんでも

こんごうさん

金剛山

金剛山は修験道の開祖、役行者が修行した修験道発祥の山として知られ、山頂付近の森閑とした杉林のなかに葛木神社が祀られている



▲赤い灯籠が立ち並ぶ葛木神社参道

標高1125m
大阪府・奈良県

歩行時間
約2時間30分

標高差
615m

問合せ先

千早赤阪村産業振興課
☎0721-72-1447
御所市役所産業振興課
☎0745-62-3001

登山適期
4月～11月

金剛山は修験道の開祖・役小角えんのかどが修行した山として知られている。役小角は16歳の時から、この山で修行し全国各地の霊山を駆けめぐったと伝えられる。平安時代になると金剛山一帯は熊野の金峯山とともに山岳宗教の聖地となり、明治初年までは女人禁制の山であった。金剛山という名前の山はなく大日岳、葛木岳、湧出岳の三峰の総称で、最高峰は葛木神社の境内にある葛木岳で立ち入ることはできない。葛木神社のご祭神は一言主神ひとことぬしで、地元では「いちごんさん」と呼ばれており、一言の願いであれば何でも聞き届ける神とされ、「無言まいり」の神として篤く信仰されている。

コースガイド

千早城跡をたどって 山頂をめざす

金剛登山口バス停-20分→千早城跡-40分→一本木茶屋-40分→国見城跡・転法輪寺-15分→金剛山山頂・葛木神社-15分→湧出岳-20分→金剛山駅

金剛山は、奈良県と大阪府との境目にある山で、かつては高天山（たかまやま）や葛城嶺といわれていた金剛山地の主峰である。最高地点は葛木岳で葛木神社の本殿の裏にあるが、神域となっていて立ち入るこ

▼山頂近くに立つ葛木神社は、『古事記』にも登場する葛城氏の先祖神である一言主を祭る神社で、金剛山の最高点である葛木岳は社殿の裏手にあり神域になっていて立ち入ることができない。それだけに深い杉木立に囲まれた神社境内は森閑とした霊気に満ちているように感じる。また、コース途中には『太平記』の英雄、楠木正成の城・千早城跡などの史跡が点在しているので立ち寄りたい

とはできないので、国見城跡の広場が山頂とされている。

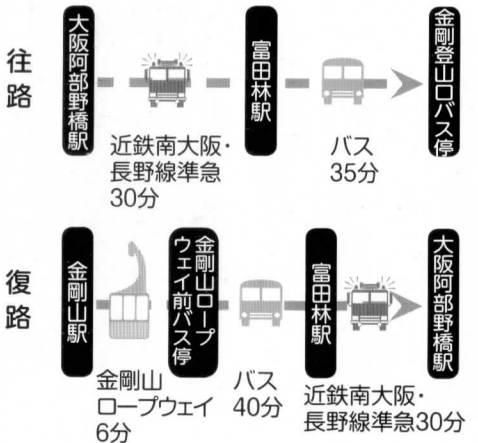
金剛山ロープウェイが山上の「ちはや園地」まで運行されていて、気軽に山上までアクセスできるのでハイカーの人気は高く、登山適期だけではなく冬場には霧氷を見ることができる山として積雪期の登山も盛んだ。ここでは途中、楠正成ゆかりの千早城跡を通過して山頂をめざす正面道から登るコースを紹介する。

金剛登山口バス停で下りると、登山コースは千早城跡を通る尾根道と、フロノ谷をつめていく二つのコースがある。どちらのコースをたどっても後で合流するが、ここでは『太平記』に語り継がれる千早城攻防の舞台となった尾根道をたどろう。700年も昔、千早川の狭い谷を鎌倉方の十万といわれる軍勢が埋め尽くしたことに思いをはせて出発しよう。

みやげ店が並ぶ登山口から暗い杉の林に囲まれた急な石段をしばらく登り、千早城跡へと登って行く道を左に分けると登山道

アクセス情報

大阪阿部野橋駅から電車・バス・ロープウェイ利用で



ご利益行事

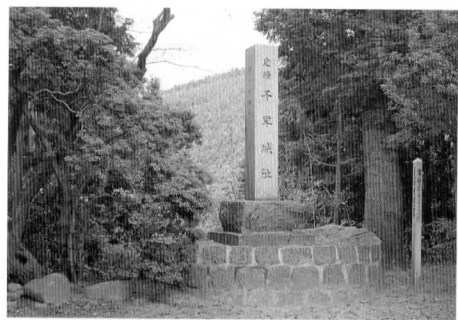
毎年7月7日の役小角の命日には一言主神を祀る葛木神社と法起菩薩を本尊とする転法輪寺との珍しい神仏習合のれんげ大祭が行われる。山伏姿の行者の行列が、山頂の葛木神社から転法輪寺までほら貝を吹きながら歩き、転法輪寺では破魔矢を射たあと護摩を焚いて山を清める。



Power Spot



▲急な石段を登る金剛山の登山口



▲千早城跡に立つ石碑

は木の階段が整備された歩きやすい道になる。つづら折りの階段を登りつめるとフロノ谷からのコースが合流する。ここからは山道は多少ゆるやかになり、急坂は階段で登るようになるので歩きやすい。ほどなく、飲料水などを売っている一本木茶屋に着く。一本木茶屋からも整備された登山道がつづく。尾根沿いに付けられた道は途中に分



大日岳、葛木岳、湧出岳とつづくならかな金剛山



▲千早城跡に立つ千早神社

岐が二つあるがどちらの道をたどってもすぐに合流するので、最初の分岐は左、次の分岐は右に進んで行く。しばらく登ると葛木神社社務所のある売店やトイレのある広場に到着する。国見城跡のある広場の左手に金剛山の山頂とされる場所があり、明るく開けた広場はロープウェイで登ってきた家族連れなど、たくさんの人でにぎわっている。晴れていれば大阪の市街、遠くは六甲山なども見渡せる好展望地だ。この先の葛木神社と転法輪寺の境内は飲食禁止なので、ここで大休止するのがいいだろう。

広場の売店前を右に行けば葛木修験道総本山の転法輪寺境内。修験道の開祖、役行者が開いたとされる古刹で境内にはひさご池や鎮宅堂などがある。本堂前を右に進むと葛木神社参道で、ほどなく葛木神社に着



▲登山道中腹に立つ休憩舎

く。金剛山の最高点、葛木岳の山頂は社殿の裏手にあるが神域で入ることができない。葛木神社に参拝したら正面の階段を下り、縦走路を左に進む。一ノ鳥居をくぐったところで金剛葛木自然歩道と合流するが、自然歩道には入らず少し先に進むと湧出岳の山頂に着く。湧出岳はロープウェイの山頂駅に向かう遊歩道から少し外れた小さな頂で、木立に覆われた山頂には無線中継所と



▲ロープウェイもあるので山頂広場にはぎわっている

展望塔がある。

湧出岳の山頂一帯は、金剛山の自然を生かした大阪府民の森ちはや園地として整備され、ちはや星と自然のミュージアムやビクターセンターがある。帰路に利用するロープウェイ金剛山駅はすぐ目の前だ。



ご利益マップ

